

5 令和5年度 学校評価報告書（実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月6日実施)	総合評価（3月22日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<p>①身につけさせたい学力を明確化し、「海老名高等学校スタンダード」を構築する。</p> <p>②生涯学び続ける力の育成を図るために「主体的・対話的で深い学び」の実現を柱に組織的な授業改善を行う。</p> <p>③総合的な探究（学習）の時間を構築し、探究力・創造力の育成を図る。</p>	<p>②新しい学習指導要領の実施に伴う評価方法の変更を通じて授業の改善を図る。</p> <p>③総合的な探究の時間の指導計画の改善を進め、探究力・創造力の育成を図る。</p>	<p>②評価方法について研修などを行うことで職員の共通理解を深める。</p> <p>③生徒の学習状況を適切に把握し、学習状況に応じた支援を行う。</p>	<p>②評価方法に関する理解を深めることで授業改善が図られたか。</p> <p>③生徒の学習状況を踏まえた適切な支援を通して、探究力・想像力の向上が見られたか。</p>	<p>②評価方法についての研修会を通じて共通理解を深めるとともに、研究授業を行うなどして授業改善を進めた。</p> <p>③総合的な探究の時間の指導計画を作成し、探究・発表活動を通じて探究力・創造力の育成を図った。</p>	<p>②研究授業や研修会などを通じて一層の授業改善に取り組む。</p> <p>③探究活動を進め、表現力の育成を図る。</p>	<p>②研究授業や評価方法についての研修の実施により職員全体で授業改善に向かっていることは評価できる。</p> <p>③総合的な探究の時間の計画的な実施とともに生涯学び続ける力の育成を具体化していくことが大切である。</p>	<p>②研究授業や評価方法の研修を通して授業改善に向けた組織的な取組となった。</p> <p>③探究活動及び発表活動を通して探究力・想像力の育成に繋がった。</p>	<p>②指導と評価の一体化のため評価方法や教育課程の検証と必要な改善を継続する。</p> <p>③主体性をもって課題に向き合い解決する力の育成を目指す。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①「文武両道」を柱に「自主・自律」の精神を培い「規律ある学校生活」を送り、他者と協働し社会に貢献できる力を育成するために、特別活動の充実、部活動の活性化を図る。</p> <p>②生徒一人ひとりが充実した学校生活を送るために、組織的な教育相談体制を構築し実践する。</p>	<p>①部活動や行事等の活性化を図る。</p> <p>②生徒一人ひとりが充実した学校生活を送るために、組織的な教育相談体制を構築し実践する。</p>	<p>①部活動加入率を上げるための啓発活動を行い、入部しやすい雰囲気を作る。</p> <p>②状況に応じスピーディにケース会議を開催し、生徒の情報把握と問題解決に努め、学校全体での情報共有を図る。</p>	<p>①部活動の加入率が85%以上となったか。</p> <p>②ケース会議を経て、生徒の抱える問題を解決することができたか。ケース会議で得られた情報を学校全体で共有できたか。</p>	<p>①部活動の加入率が85%以上となった。</p> <p>②ケース会議で教員間の情報共有を図り、その情報を必要に応じて学年を通じて職員に知らせることができた。また家庭との連携で、生徒が抱える問題の全体像を把握することができた。</p>	<p>①お互いの部活動を応援しあうなど学校一体となって盛り上げていくという雰囲気を作る。</p> <p>②ケース会議で得られた情報をもとに、外部機関とも連携をとって生徒が抱える問題の解決に努める。</p>	<p>①部活動加入率85%以上を実現し活発な学校生活の雰囲気伝わっている。</p> <p>②ケース会議に生徒の状況を共有し、問題解決に向けて組織的な相談体制を今後も進めてほしい。</p>	<p>①部活動が活発に行われている。部活動間で励まし協力する姿が望ましい。</p> <p>②ケース会議や外部機関との連携により丁寧な対応ができた。今後もメンタルの不調を訴える生徒の対応が必要である。</p>	<p>①部活動を通して他者との協働する力を育成する。</p> <p>②家庭と連携することが不可欠であることを考慮しながらサポートドックによるプッシュ型面談や教育相談体制を充実させる。</p>
3	進路指導・支援	<p>①生徒一人ひとりの自己実現に向けて、3年間を見通したキャリア教育計画を構築し、支援体制の充実を図る。</p> <p>②生徒の第一志望を達成するために組織的に取り組み、より高い進路実現を図る。</p>	<p>①生徒一人ひとりの自己実現に向けて、3年間を見通したキャリア教育計画を構築し、支援体制の充実を図る。</p>	<p>①進路意識の向上のために、学年ごとに進路集会を定期的に開催する。進路集会の内容を全体で共有して段階的な指導を行う。</p> <p>・進路情報を伝えるために、常に最新情報を提供する。また、予備校講師や卒業生による講演会を実施して進路意識を高める。</p>	<p>①1年間に、各学年で3回以上の進路学年集會を実施できたか。</p> <p>・進路情報の提供を定期的にできたか。卒業生や予備校講師による講演会を複数回開催できたか。</p>	<p>①進路集会をリモートや学年集會形式で3回以上、特に、3学年では5回以上行い、将来の自分を考える機会を与えた。</p> <p>予備校講師による進路講演会を各学年1回ずつ保護者を招いて実施した。また、進路業者による将来の職業を考える機会を1、2学年でそれぞれ実施した。</p>	<p>①進路集会の回数だけではなく、内容をさらに向上させて、進路意識のさらなる向上を図る。</p> <p>職業意識の向上を目指すために、さらなる方策を企画する。</p>	<p>①進路集会や予備校講師による講演会など、生徒が自己の将来に向き合う機会を増やし進路意識を向上させた。学年ごとに内容を工夫し、学年齢にあった活動が評価できる。</p>	<p>①学年ごとに適した進路集会や講演会により支援を充実させた。3年間を見据えた説明会の実施など生徒及び保護者がそれぞれ進路決定に向けた意識づけできるよう今後も支援を継続する。</p>	<p>①入学直後から自らの将来を考え社会人として活躍できる人材育成に向けた支援体制を整える。</p>
4	地域等との協働	<p>①コミュニティ・スクールを円滑に推進する。学校運営協議会を柱とし地域連携を進め地域貢献を図り、「地域に信頼される学校づくり」に取り組む。</p> <p>②地域に根ざした環境教育を推進する。</p>	<p>①コミュニティ・スクールを円滑に推進する。学校運営協議会を柱とし地域連携を進め地域貢献を図り、「地域に信頼される学校づくり」に取り組む。</p>	<p>①学校運営協議会を年3回程度開催する。また、地域連携を進める中で、近隣の小・中学校と交流を図ることのできるような活動を模索する。</p> <p>・学校全体で地域貢献活動に積極的に参加する計画を立てる。</p>	<p>①学校運営協議会を年3回程度円滑に開催できたか。</p> <p>・1年生の清掃活動だけではなく、生徒会や部活動等でも近隣の小学校等のイベントなどに、部活動や生徒会の生徒が多数参加する機会をいただき、地域の活動に貢献することができた。</p>	<p>①学校運営協議会を年3回開催できた。また、地域連携を進める中で、1年生の清掃活動だけではなく、地域の行事や近隣の小学校等のイベントなどに、部活動や生徒会の生徒が多数参加する機会をいただき、地域の活動に貢献することができた。</p>	<p>①来年度も引き続き学校運営協議会を年3回程度開催し、「地域に信頼される学校づくり」に取り組むとともに、学校全体で地域の活動にさらに貢献できるよう、積極的に参加する計画を模索する必要があると考えられる。</p>	<p>①清掃活動は地域の広報誌で紹介している。今年度もお願いしたい。今年度は小学校でバトン部や合唱部が演技を披露してくれた。コミュニティセンターでは生徒が勉強に来ていた。地域として様々な年齢の方と交流の場を増やしてほしい。</p>	<p>①学校運営協議会を年3回開催した。また、部活動などが地域と交流する場面が増えたことはコロナ後の学校活動に活気を取り戻すこととなった。部活動単位で実施している地域貢献活動を集約していく。</p>	<p>①他者と協働し社会に貢献する力を育成するため幅広い年齢層の方々との交流する機会を増やしていく。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①安全・安心な教育環境の実現を図る。</p> <p>②確かな防災教育の推進と防災意識の向上を図る。</p> <p>③教職員の働き方改革を推進し効率的で効果的に業務を遂行する。あわせて、教育者としての自覚をもち責任ある行動を行い、事故・不祥事防止に取り組む。</p>	<p>①耐震工事を終えた本校舎での安全・安心な教育環境を整えるとともに環境美化に努める。</p> <p>②避難訓練をはじめとする防災教育を、生徒主体や地域との協働の観点から推進していく。</p> <p>③引き続き教職員の多忙化の解消に向けて、業務の精選等を行う。</p> <p>・学校業務を遂行するにあたり教育公務員としての責任を強く持ち、事故・不祥事防止に取り組む。</p>	<p>①日頃の点検を徹底し、不具合があれば迅速に対応する。環境美化意識の向上については、清掃活動等が生徒の主体性が生かされるよう適切な指導を行う。</p> <p>②防災教育について、生徒の主体性を生かした内容や地域との協働が可能か内容を検討し実施する。</p> <p>③可能な業務はデジタル化し、業務そのものの精選も進める。</p> <p>・定期的な不祥事防止会議を持ち、事故・不祥事ゼロを徹底する。</p>	<p>①生徒の安全・安心を考えた対応が迅速に実行できたか。</p> <p>本校舎での清掃活動をはじめとする環境美化指導が生徒の主体性が生かされるよう適切に実施され校内美化が実現したか。</p> <p>②防災教育について、学校生活で生徒が主体性を生かした活動や、地域との協働でDIGなどが実施されたか。</p> <p>③デジタル化を進め業務の精選ができたか。</p> <p>・不祥事防止会議のあり方を工夫し、事故・不祥事ゼロが達成できたか。</p>	<p>①設備面では大きな不具合もなく、生徒の安全・安心を第一に考えた環境を整えることができた。環境美化については、大部分の生徒は校内美化の大切さを理解している。特に行事の準備や片付けなどでもリーダーの生徒が率先して行った。</p> <p>②避難訓練・帰着地訓練を計画したが、雨天で完全には実施できなかった。1学年は2月下旬にDIGを実施し防災意識を高めることができた。</p> <p>③会議の一部で資料をデジタル化するなど、業務のデジタル化の検討を始めた。</p> <p>・定期的な不祥事防止会議等の実施により不祥事ゼロを達成した。しかし現在適切な取組もマンネリ化する恐れがあるので留意したい。</p>	<p>①事故につながるような学校設備の不具合を見落とさないように、組織的に点検を実施する体制を充実させる。また生徒が主体性に校内美化活動を実践するよう指導の工夫をしていく必要がある。</p> <p>②現代では、防災意識の向上は職員、生徒共に望まれる。日頃から学校生活の中で持続的に防災について強く意識付けを行う必要がある。</p> <p>③業務のデジタル化について、課題を整理しながら業務の精選につなげていく。</p> <p>・定期的な不祥事防止会議を続けていくなかで、常に自分事としてとらえる視点を持ち、緊張感を持って業務に取り組む、不祥事ゼロを更新していく。</p>	<p>①校内美化や環境美化に対する気持ちを持ってほしい。</p> <p>②各地区の防災講座や高大連携の出前授業など、様々な機会やツールを活用し、防災教育の充実を図ってほしい。</p> <p>③業務のデジタル化により業務の精選に繋げるよう今後と取り組んでほしい。また、不祥事防止研修を職員一人ひとりが自分事として捉えることができるよう実施し、マンネリ化等の気を緩めることなく不祥事ゼロを継続してほしい。</p>	<p>①校舎移転に伴う不具合等を解消し環境を整えることができた。今後も日頃から校内美化に取り組む。</p> <p>②避難訓練・帰着地別訓練・DIG訓練を通じて実践的・主体的な防災教育を実践する。</p> <p>③デジタル化の課題を整理しICTの効果的な活用方法を検討し業務の効率化を推し進める。</p> <p>不祥事はゼロを継続している。今後も定期的な不祥事防止対策に努める。</p>	<p>①ゴミ箱設置を含めて校内美化活動を実践する。</p> <p>②持続的に防災意識の向上のため防災備品・設備の点検や防災教育の充実を図る。</p> <p>③不祥事防止会議及び研修を通して今後も緩みや油断のないよう取組を工夫していく。</p>